

株式会社サンエー

(証券コード 2659)

2024年2月期 決算説明資料

商号	株式会社サンエー
創業	1950年1月5日
会社設立	1970年5月28日
資本金	37億円
代表者	代表取締役社長 新城 健太郎、 代表取締役専務 田崎 正仁
本社所在地	〒901-2733 沖縄県宜野湾市大山7丁目2番10号
事業内容	食料品と衣料品ならびに家電・日用雑貨等の住居関連用品の小売業
従業員数	1,782※2024年2月末現在、当社から当社グループへの出向者を含む
連結子会社	(株)ローソン沖縄、(株)サンエー浦添西海岸開発、(株)サンエーパルコ

沿革



- 1972年5月 本土復帰に伴う通貨の切換えにより、資本金は24,400千円となる
- 1977年6月 食品部門を開設
- 1982年9月 サンエー運輸株式会社（非連結子会社）を設立
- 1984年11月 「大山流通センター」を開設、DCを稼働
- 1985年5月 沖縄県宜野湾市大山に本社を移転
- 1985年6月 「生鮮加工センター」（現：「食品加工センター」）を開設
- 1985年11月 沖縄県浦添市に郊外型S C「マチナトショッピングセンター」（現：「マチナトシティ」）を開店
- 1989年9月 ニチリウ（日本流通産業株式会社）グループに加盟
- 1992年9月 食品加工センター内に食品工場を稼働
- 1995年4月 株式会社ダイイチ（現：株式会社エディオン）とFC契約を締結し、家電販売を開始
- 1998年10月 「サンエーカード」（ポイントカード）を導入
- 2000年9月 日本証券業協会に店頭登録
- 2002年1月 株式会社ジョイフルとF C契約を締結し、レストラン「ジョイフル」1号店（FC）を開店
- 2002年10月 「那覇メインプレイス」を開店
- 2005年2月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2005年7月 沖縄県宜野湾市にN S C 1号店「大山シティ」を開店
- 2006年2月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 2006年7月 I S O 2 2 0 0 0 認証取得（食品加工センター）
- 2006年10月 ドラッグストア「マツモトキヨシ」1号店（FC）を開店
- 2009年12月 株式会社ローソンとの合併会社「株式会社ローソン沖縄」（連結子会社）が運営を開始
- 2012年7月 「東急ハンズ（現：ハンズ）」1号店（FC）を開店
- 2013年8月 株式会社良品計画と「無印良品」ライセンス・ストア基本契約を締結し、同年10月に1号店を開店
- 2015年11月 「株式会社サンエー浦添西海岸開発」（連結子会社）を設立
- 2016年12月 株式会社パルコとの合併会社「株式会社サンエーパルコ」（連結子会社）を設立
- 2019年6月 「浦添西海岸PARCO CITY」を開店、「アカチャンホンポ」（パッケージライセンス）、「リトルマーメイド」（F C）の1号店を開店
- 2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ移行

店舗の状況

※2024年2月末現在



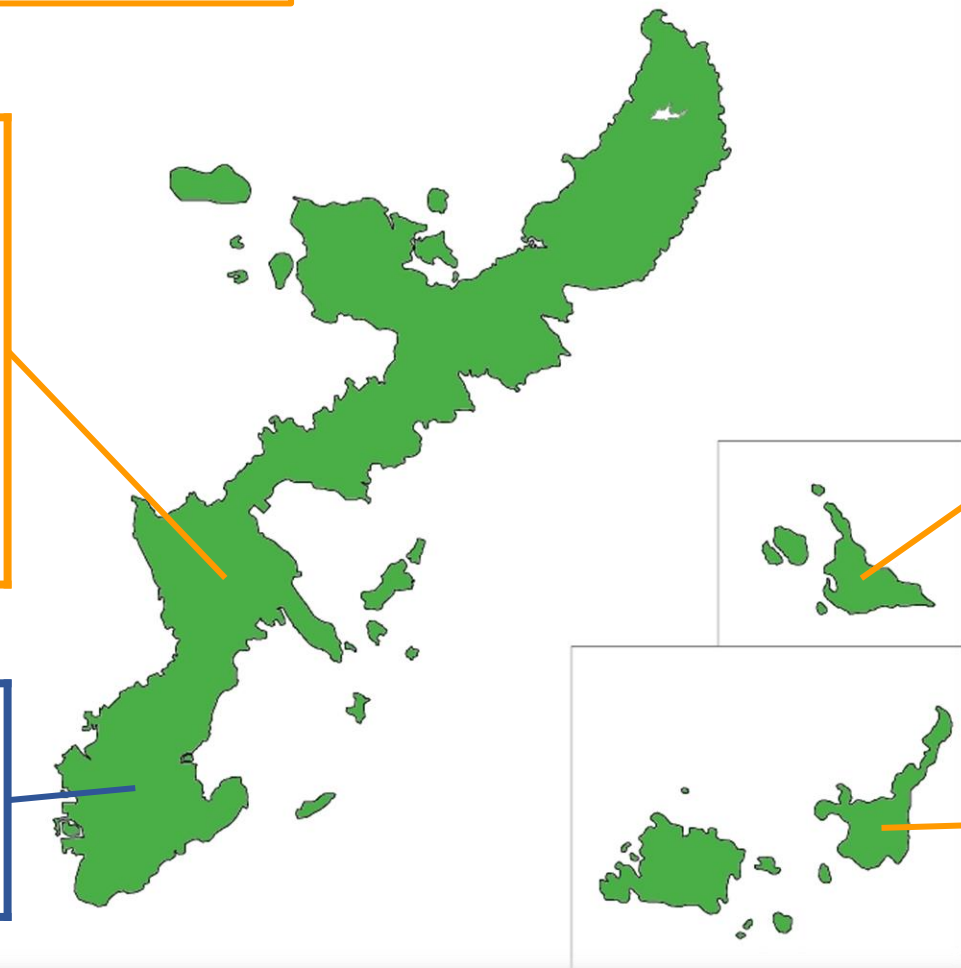
店舗数 合計 79店舗 (単体)

沖縄本島

総合店舗	:	22
衣料・住関連店舗	:	1
食品店舗	:	42
外食店舗	:	7
ドラッグストア	:	2

沖縄本島

コンビニ 直営店	:	1
FC店	:	261



宮古島

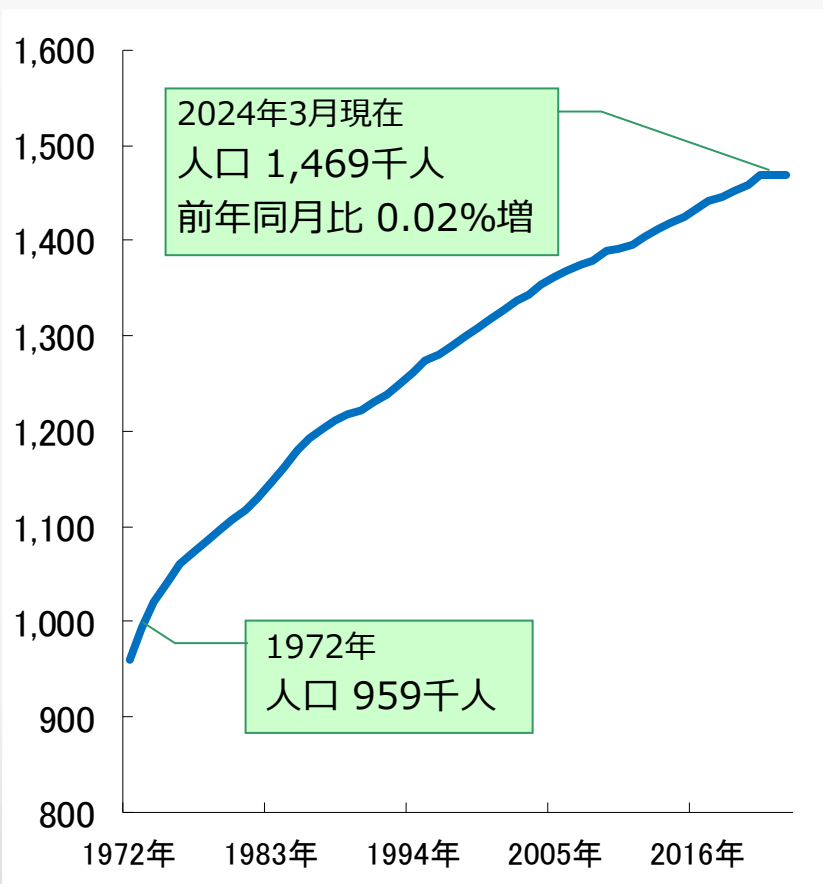
総合店舗	:	2
食品店舗	:	1
外食店舗	:	1

石垣島

総合店舗	:	1
------	---	---

全国一の出生率、若い層が多い

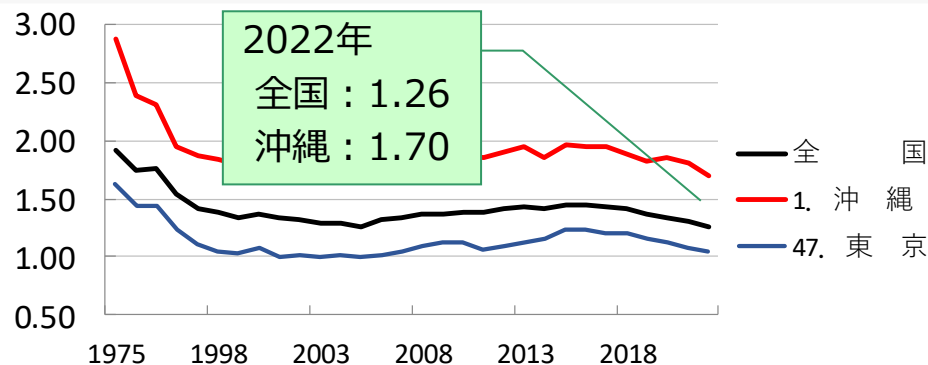
人口推移（1972年～2024年3月）



(出所：沖縄県企画部統計課「沖縄県推計人口」)

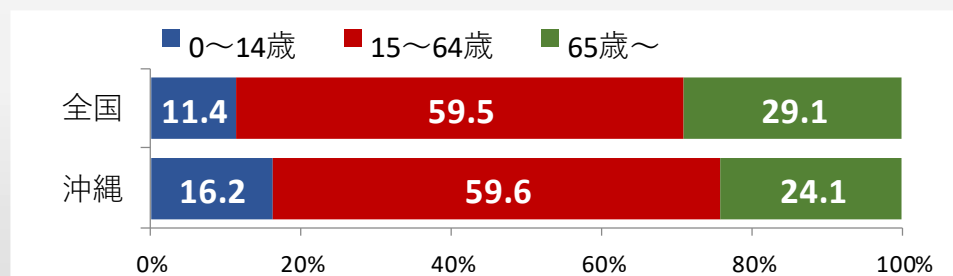
合計特殊出生率（1975年～2022年）

※合計特殊出生率：1人の女性が一生に産む子供の数の平均



(出所：厚生労働省「人口動態調査」)

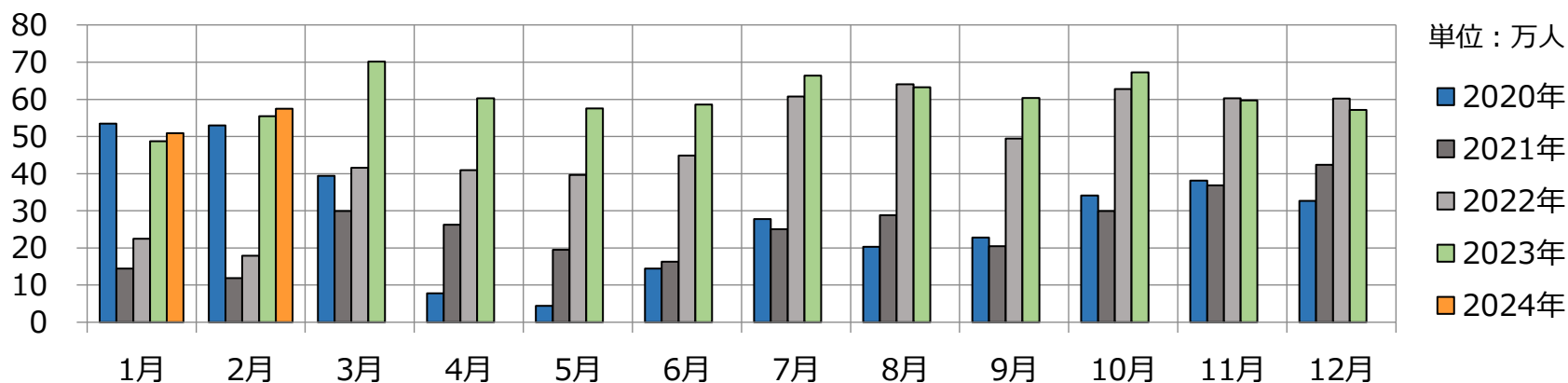
人口構成（2023年10月）



(出所：総務省統計局「都道府県、年齢3区分別人口の割合」)

観光客は、国内・海外合計で対前年同月比27ヶ月連続の増加

入域観光客数の月別推移（国内）



入域観光客数の月別推移（外国）



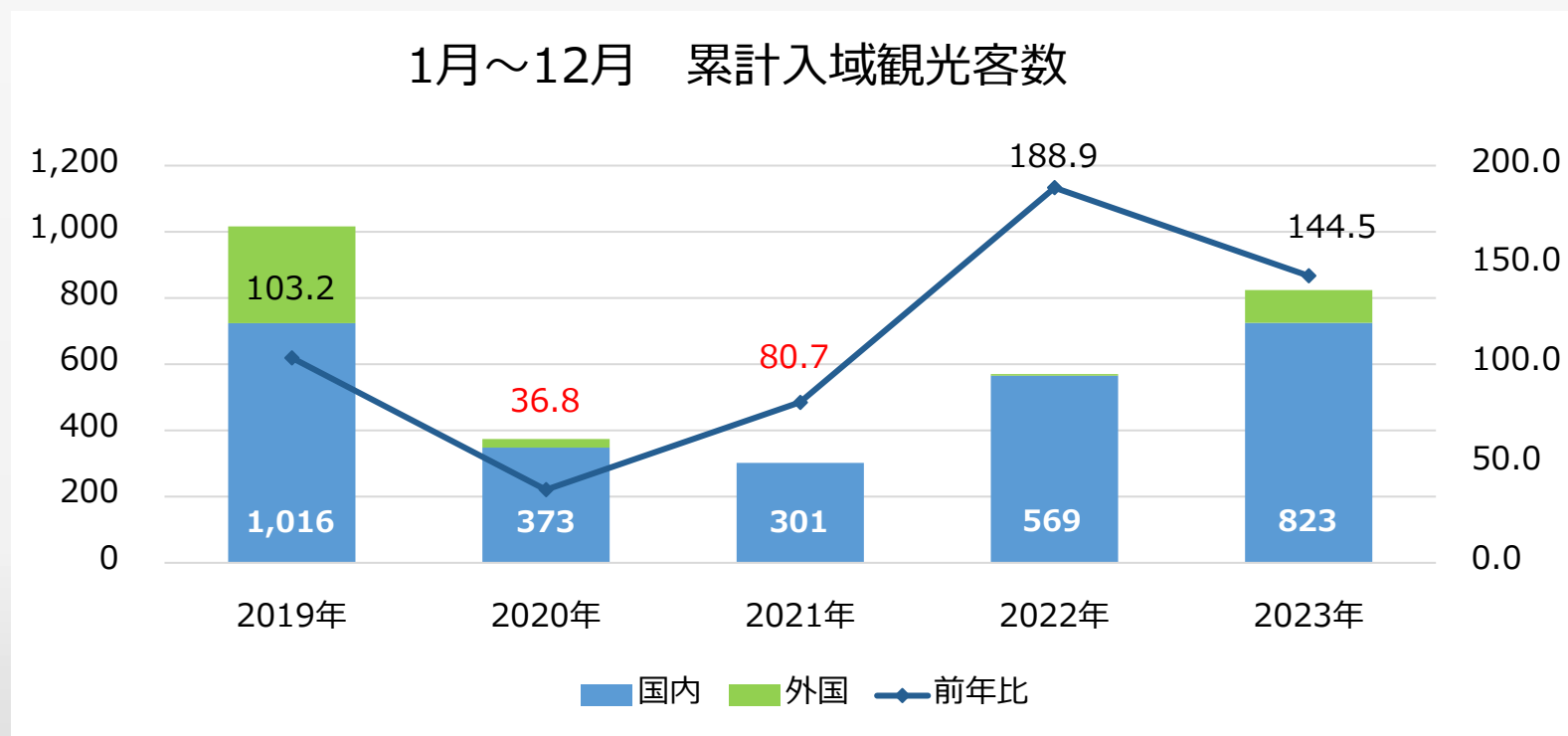
(出所：沖縄県観光政策課)

入域観光客数は増加傾向、国内観光客数はコロナ前を上回り過去最多

- ・ 総数：823万人、前年比 144.5%、2019年比 81.0%
- ・ 国内：724万人、前年比 128.3%、2019年比 100.2%
- ・ 外国：98万人、前年比2068.3%、2019年比 33.7%

(万人)

(%)

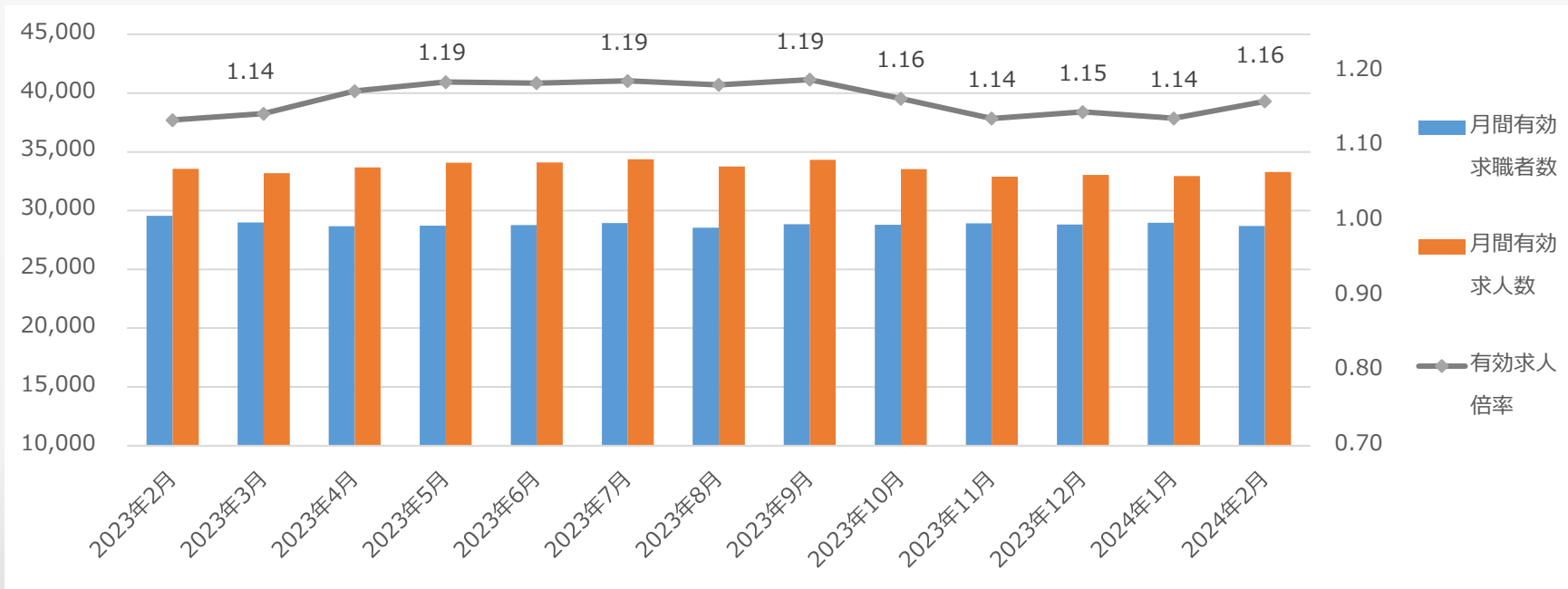


(出所：沖縄県観光政策課)

雇用環境は改善傾向、引き続き業界問わず人手不足感が高まっている

- 完全失業率 : 3.0% (前年同月 : 3.6%)
- 有効求人倍率 : 1.16倍 (前年同月 : 1.14倍)
- 就業者数 : 766千人 (前年同月比 : +13千人) ※2024年2月現在

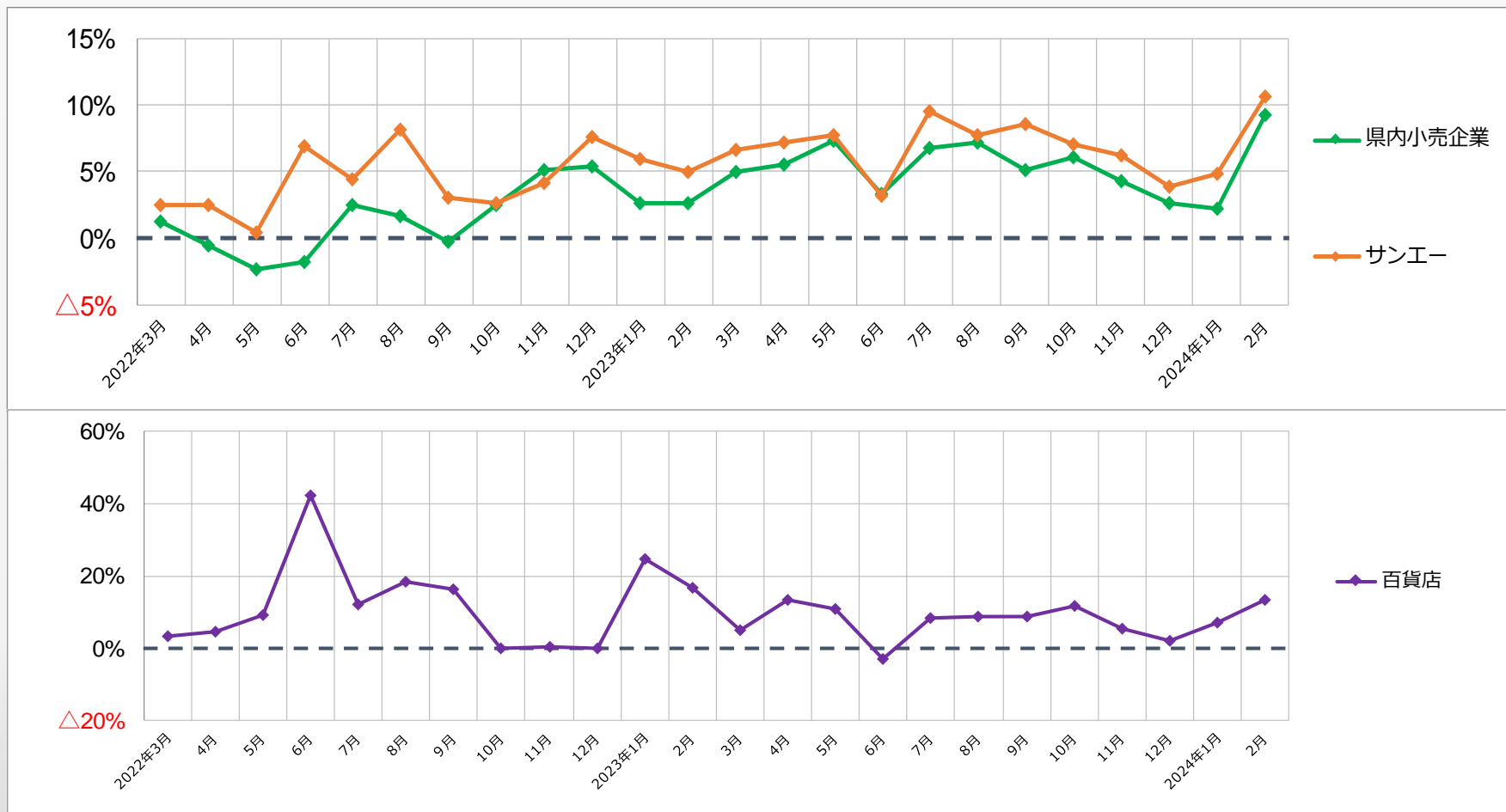
求職者数及び求人数、有効求人倍率の推移 (2023年2月～2024年2月)



(出所：沖縄県企画部統計課「労働力調査」、沖縄労働局「求人求職・労働市場の動き(就業地別)」)

県内主要小売企業の売上高は引き続き好調

沖縄県内主要小売企業の既存店売上高増減率推移（2022年3月～2024年2月）



※県内小売企業：サンエー除く（出所：(株)りゅうぎん総合研究所「県内の景気動向」）

子会社の取組み（株）サンエーパルコ



パルコシティならではのイベントを開催。開業5周年に向けた準備を進める

- 2019年6月に開業。コロナ禍が明け人流が回復し、地元客に加え国内外の観光客が増加。特に飲食店やコスメ・シューズ・バッグ等のアイテムが好調
- 本年度は開業5周年の節目の年。秋の改装で新規テナントが出店予定。また、周年企画として様々なイベントやお客様に喜んでいただける施策を計画中
- 継続的にパルコ社と連動した企画催事、県内のクリエイターやショップを集積させたイベントを開催



2024年2月期決算概要



部門別売上高

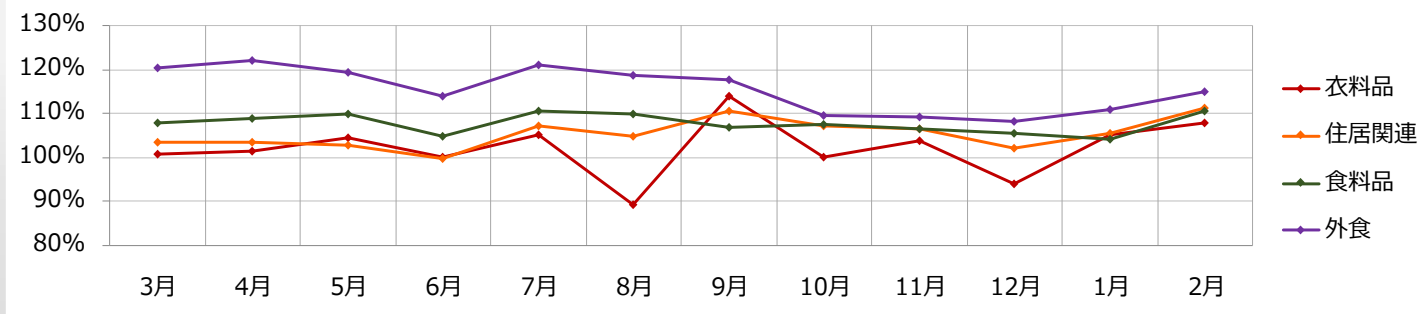
(単位：百万円・%)

部門の名称		金額	構成比	総合 前年比	既存店 前年比
小売部門	衣料品	12,244	5.7	101.7	101.5
	住居関連用品	60,582	28.2	105.7	105.1
	食料品	132,609	61.7	108.0	107.4
	外食	9,074	4.2	112.0	115.5
	小計	214,511	99.8	107.1	106.6
CVS		374	0.2	209.6	108.0
売上高合計		214,885	100.0	107.2	106.6

※CVSは直営店舗の売上

※「収益認識に関する会計基準」等を適用しなかった場合の売上高及び前年比

既存店売上高前年比の推移



決算概要



前期・予算比較（連結）

（単位：百万円、％）

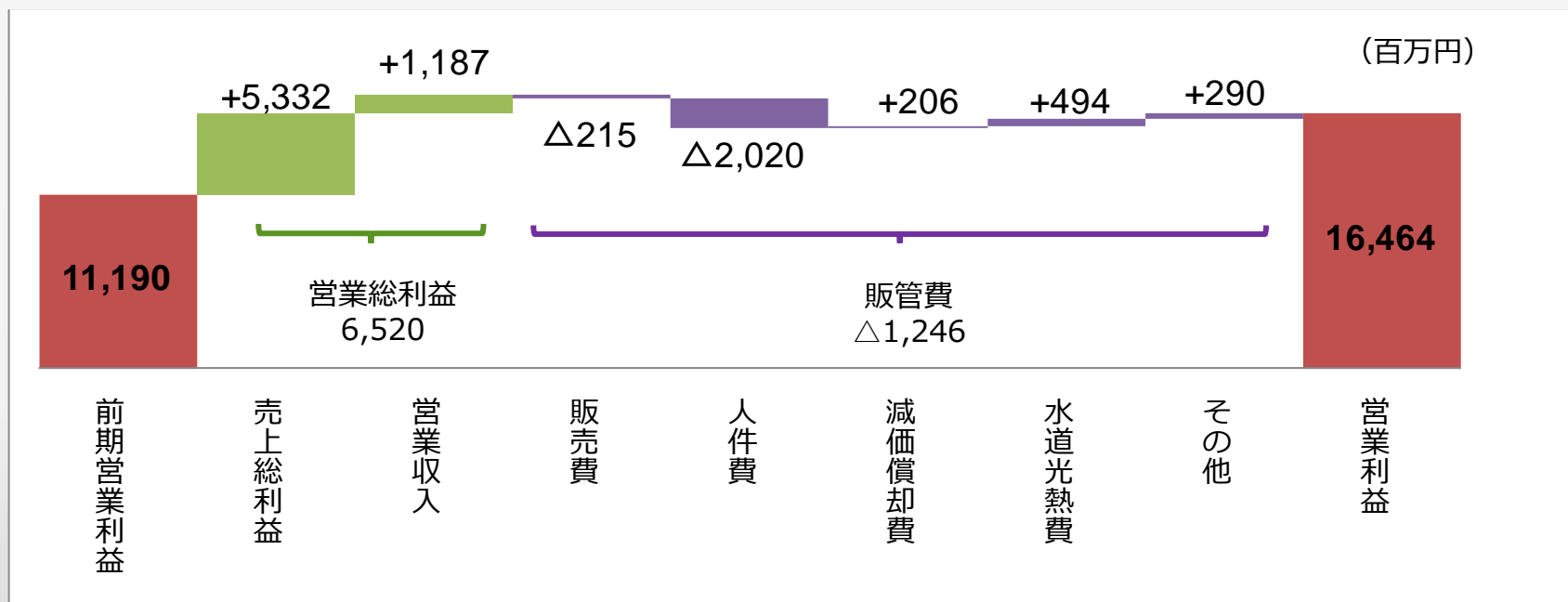
	2024年2月期					2023年2月期		
	実績				予算 (2024年2月5日修正)		実績	
	金額	売上比	前年比	達成率	金額	売上比	金額	売上比
営業収益	227,581	-	106.6	100.5	226,340	-	213,522	-
売上高	210,190	-	106.5	100.5	209,120	-	197,319	-
売上総利益	66,723	31.7	108.7	100.8	66,200	31.7	61,390	31.1
営業収入	17,390	8.3	107.3	101.0	17,220	8.2	16,203	8.2
販管費	67,649	32.2	101.9	99.4	68,057	32.5	66,403	33.7
営業利益	16,464	7.8	147.1	107.2	15,360	7.3	11,190	5.7
経常利益	16,893	8.0	146.2	107.3	15,750	7.5	11,554	5.9
当期純利益※	10,683	5.1	141.1	98.9	10,800	5.2	7,569	3.8

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

連結営業利益：16,464百万円（5,273百万円増、147.1%）

- ・ 売上総利益：売上高106.5%、粗利率31.7%（前期31.1%）
- ・ 人流回復：年末年始や行事等で消費が活発化、観光客の増加等による売上伸長
- ・ インフレ下での物価高による単価上昇
- ・ 販売管理費：水道光熱費が大幅に減少（前年比90.0%）

営業利益増減



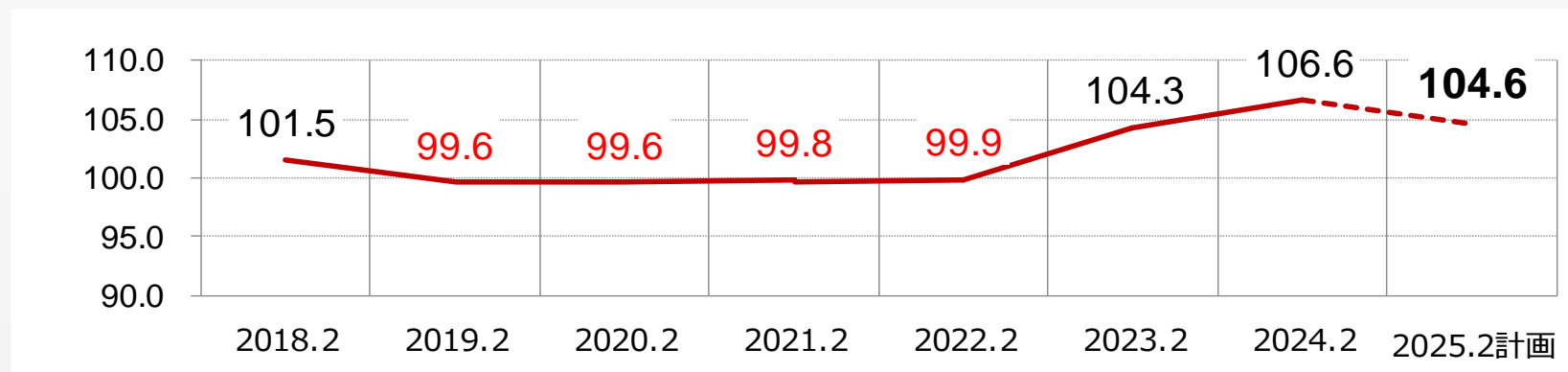
丁寧な仕事

社会環境の変化は続く、お客様は冷静に価値観とライフスタイルを変化させる。細やかな目配り気配りを徹底し「丁寧な仕事」でお客様が喜び、社員が輝き地域とともに会社も成長する。幸せを共感する企業を目指す。

1. 企業理念を理解し七大基本を実行する
2. 店舗力、商品力の向上
3. 仕組み力の向上
4. 人財力の向上
5. 永続性ある企業体質づくり

既存店売上高前年比

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
既存店売上予想	104.8	105.1	104.8	103.8	104.6



・ 人流回復

入域観光客数増加、個人消費の更なる増加

・ 継続的なインフレによる単価増

・ 前期リニューアル店舗による売上の増加

2025年2月期計画



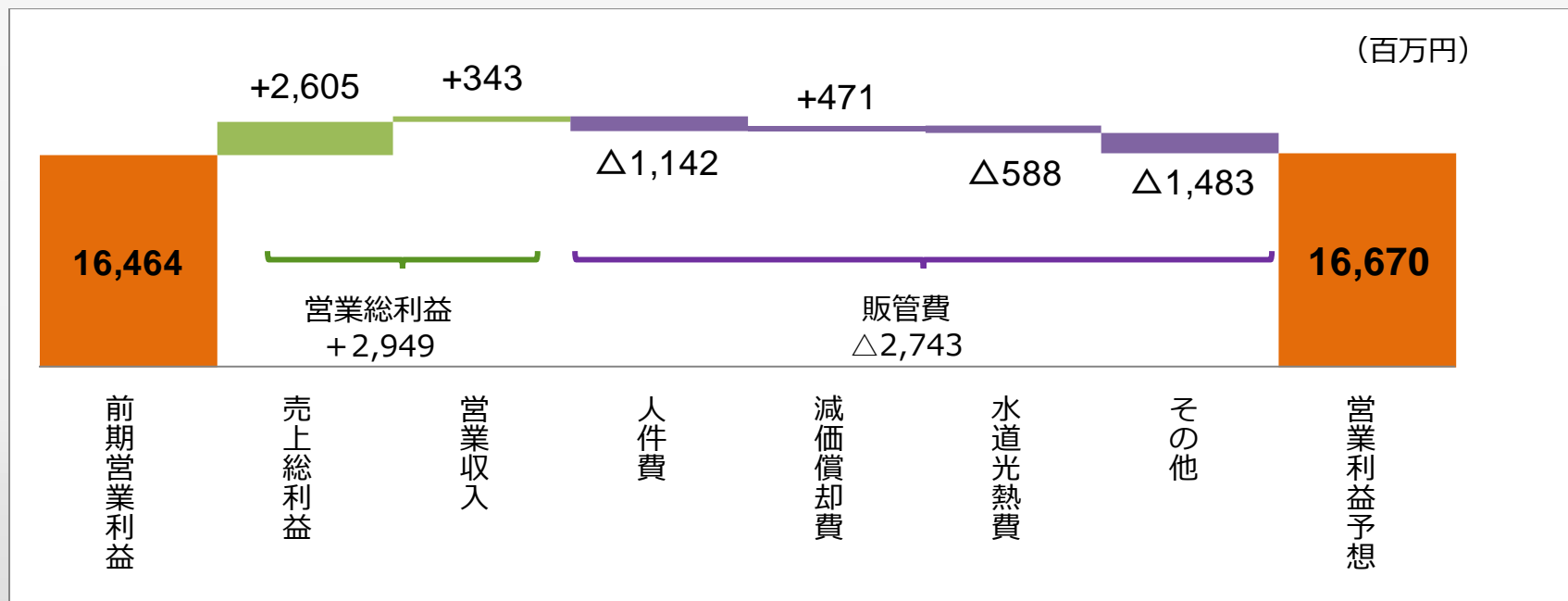
営業利益予想：16,670百万円（206百万円増、101.3%）

売上総利益：売上高103.9%、粗利率31.7%（前期31.7%）

人件費：定期昇給、ベア、最低時給引上げ等

水道光熱費：5月使用分以降の電気料金値上げ、前年比113.2%を予想

営業利益増減予想



2025年2月期計画



連結予想

(単位：百万円、%)

	2025年2月期			2024年2月期	
	金額	売上比	前年比	金額	売上比
営業収益	236,120	-	103.8	227,581	-
売上高	218,385	-	103.9	210,190	-
売上総利益	69,328	31.7	103.9	66,723	31.7
営業収入	17,734	8.1	102.0	17,390	8.3
販管費	70,392	32.2	104.1	67,649	32.2
営業利益	16,670	7.6	101.3	16,464	7.8
経常利益	17,043	7.8	100.9	16,893	8.0
当期純利益 ※1	11,185	5.1	104.7	10,683	5.1
EBITDA ※2	23,384	10.7	98.9	23,648	11.3

※1：親会社株主に帰属する当期純利益、※2：EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（定率法）

サンエー石垣シティの建替えリニューアル

サンエー石垣シティ		
所在地	沖縄県石垣市	
着工	2023年2月	
開業日	2025年秋（予定）	
投資額	約51億円（予定）	
業種	衣料品、食料品、住居関連、外食、ネットスーパー等（予定）	
	新店舗	旧店舗
延床面積	16,559㎡ ※駐車場階含む	6,042㎡
売場面積	5,844㎡（予定）	5,134㎡
駐車台数	約480台（予定）	273台



- ・品揃えの充実とネットスーパー導入等、より良い商品とお買物環境を提供する
- ・旧店舗の営業を継続しながら隣接地に新店舗を建築し、仮オープン後に旧店舗を解体、2025年秋グランドオープンを目指す

「本社・食品加工センター」の新築移転計画を進める

■本計画の目的

- ・今後の事業拡大を見据えたセンター機能の強化
 - ①商品力の向上（お客様の満足度を高める商品の提供）
 - ②仕組み力の向上（社員の働きやすい環境の整備、生産性の向上）

■今後の予定

- ・「サンエー大山シティ」を2024年夏に閉店
- ・「エディオン」等の一部店舗は、「宜野湾コンベンションシティ」へ移転
- ・新「本社・食品加工センター」を建設

沖縄県企業売上ランキング（2022年度）

（単位：百万円、％）

	上場	会社名	売上高	業種	前年比
1	○	沖縄電力	213,383	電気	27.0
2	○	サンエー	205,751	スーパー	4.3
3		イオン琉球	92,063	スーパー	3.5
4		りゅうせき	86,874	石油類卸売	28.4
5		沖縄ファミリーマート	75,814	コンビニエンスストア経営	△1.1
6	○	沖縄セルラー電話	73,452	携帯電話サービス	4.8
7		金秀商事	60,374	スーパー	2.4
8		沖縄出光	46,764	石油製品卸売	28.2

（出所：東京商工リサーチ沖縄支店調べ〔銀行等金融機関、損保は除く〕）

添付資料

フランチャイズ事業（2024年2月末現在）

11社とF C契約、1社とパッケージライセンス契約を締結 合計106店舗を展開

ショップ名	店舗数
マツモトキヨシ	30
エディオン	14
ジョイフル（外食）	13
大阪王将（外食）	10
無印良品	9
リトルマーメイド（ベーカリー）	6
ハンズ・ハンズビー	5
ピッツェリアマリノ（外食）	5
パレットプラザ（DPE）	4
タリーズコーヒー（外食）	4
チュチュアンナ（靴下・インナー）	3
ハンズカフェ（外食）	1
アカチャンホンポ（ベビー） ※パッケージライセンス契約	2



マツモトキヨシ



エディオン



無印良品



ハンズ



リトルマーメイド



大阪王将

配当性向と配当総額の推移

